

博物館等の国際交流の促進

令和3年度予算額（案） 52百万円

（前年度予算額 33百万円）



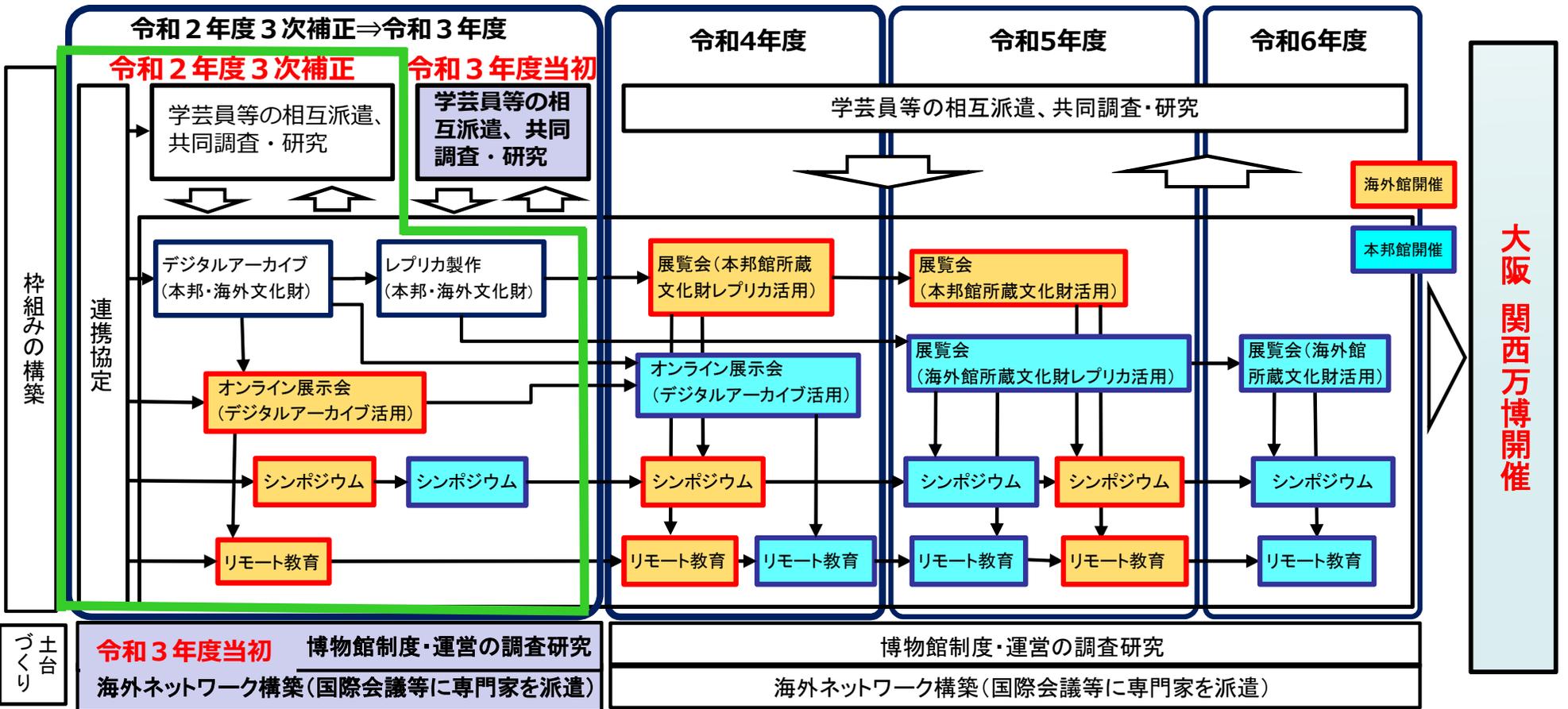
令和2年度第3次補正予算額（案） 384百万円

趣旨

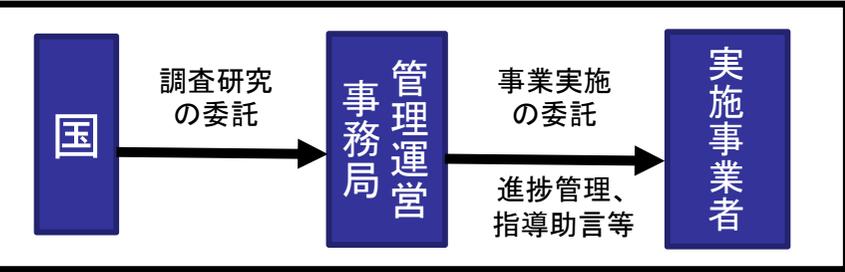
「ICOM京都大会2019」を契機として、若手研究者の海外ネットワークの構築等の国際交流を促進してきたところ、新型コロナウイルスによって甚大な影響を受けている。2021年に延期された東京オリンピック・パラリンピックや、さらに2025年の大阪・関西万博を見据え、「新たな日常」に対応した収益力の強化や、日本文化の発信機能の強化が重要であることから、**海外館と連携し、ウィズコロナにおける持続的な国際交流モデルを構築**する。

事業内容

< 進め方（イメージ） >



スキーム



積算

令和3年度予算額（案） 51,608千円

- 学芸員等の相互派遣、共同調査・研究 25,021千円（事業件数 2件程度）
- 博物館制度・運営の調査研究 12,000千円
- 海外ネットワーク構築 12,000千円
- その他審査経費等 2,587千円